

ご近所による「互近助」のすすめ

今年度から班単位で災害図上訓練 (DIG) を開始

今年地震調査委員会発表された「全国地震動予測地図」によると、今後 30 年以内に大地震が発生する確率は千葉市で 85% となっており、市町村単位では全国で最も高い確率となっています。自治会では、今年度から大規模災害に備えて班会のタイミングで災害図上訓練 (DIG) を実施しています。毎月 5 つの班の皆さんにお声がけし、災害対策の心構えとご近所同士のコミュニケーションの向上を図っていただいています。

DIG 訓練の際にも防災士の方から説明されていますが、大規模災害において命を救えるのは互近所だけです。是非とも班会に参加し、DIG 訓練を受けて下さいますよう改めてお願い申し上げます。

災害時の頼りはご近所です

災害時の人命救助については、残念ながら町の消防に多くを期待することはできません。このことは栄町に限った話ではなく、どこの市町村にもいえることです。

町の役割は、次に掲げることがらです。

- 1) 被害状況の把握と情報提供
- 2) 避難所の開設
- 3) 自衛隊の派遣要請
- 4) 支援物資の供給要請活動
- 5) 感染症の予防措置等



したがって、個別の町民への救助活動等は職員数から考えても無理な相談です。大地震の事例においても、人命救助の大半は「互近助」すなわち地域住民の助け合いで行われています。自治会（自主防災組織）はそのためにあると言っても過言ではありません。

ご近所で大地震に備えましょう！

過去の歴史を振り返ると、大規模災害はここ数年以内に襲ってくるかもしれません。危機は迫っています。正常性バイアス（「自分は大丈夫」と考えがちな心の特性）をかなぐり捨てて、自治会と一緒に以下の地震対策を進めましょう。

- ① DIG 訓練（班会）への参加（各自の防災意識向上、ご近所同士での危機感と連帯感の共有）
- ② 要支援者の把握と援護者の特定（情報公開できる方のリストは自治会が各班に開示）
- ③ 班単位での防災訓練の実施（いざという時に使える知識と技の習得）
- ④ 災害時に備え各家庭での備蓄の推進（最低で 3 日分、できれば 1 週間分）
- ⑤ 非会員への働きかけ（近助、共助の為に再入会の勧め）

（文責：副会長 岡本）

地区連「防災部会」の報告

栄町地区連絡協議会では、自治組織が抱える諸問題について話し合う「部会活動」を行うこととなり、今年度は「加入促進部会」と「防災部会」が開催されました。以下に防災部会の討議内容をご報告します。

日 時：11月4日（日）10時～12時

場 所：栄町消防署 2F 会議室

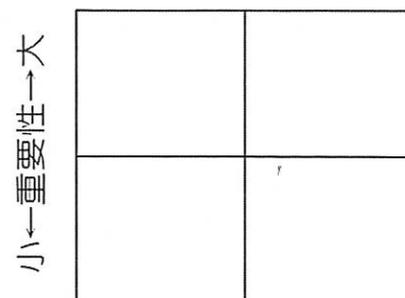
参加者：31 自治組織の代表 約 50 名（竜角寺台からは次の 2 名）

岡本副会長：ファシリテータ、南原：自主防災グループ発表者

テーマ：「防災対策として自治組織は今何をなすべきか」

■ 討議方法

- ① ファシリテータ（進行役）をたて、グループ討議の形式で、話しやすい数のグループに分け、ブレインストーミングを行いました。
- ② 各自の意見はポストイット（付箋紙）に書き出し、模造紙に張り付けることで、短い時間で多くのアイデアを集めました。
- ③ 課題や解決策の評価については、2つの尺度を決めて評価しました（ペイオフマトリックス、右図参照）。



小←緊急性→大

図 ペイオフマトリックスの事例

■ 討議結果

1. 防災への意識付け

- ① 町や自治会の防災訓練への参加呼びかけ。
- ② 現状に合致した訓練をすることで、災害発生時にすぐ活かせるようにする。
- ③ 家族で防災について関心を持ち、家庭内で話し合う。
- ④ 家族間での話し合いのキッカケを町や自治会が情報提供する。（広報さかえ 11 月号の見開きで防災対策を特集したのは非常に良かった。）
- ⑤ 子供たちが学校で防災について学んだことを家で話題にすることで、家族が防災について話し合うキッカケとなり、家族みんなの「我が家の防災意識」が高められる。
- ⑥ 一人一人が“災害は自分達にも必ず起こる”という意識を常に念頭に置いて暮らすように、町や自治会は情報を流し啓蒙することが必要。

2. 災害への備え

- ① 各家庭で必要な備蓄や災害グッズについて、町や自治会が情報提供する。
- ② 自治体及び家族間の連絡体制の確立及び方法の確認。
- ③ 各家庭で避難場所及び避難経路の確認をしておく。
- ④ 自治会で管理している防災資機材品目と保管場所の開示。
- ⑤ 発電機等の防災資機材が実際に使用可能な状態で管理されていること。
- ⑥ 倒壊家屋からの人命救助等時の資機材の確認と使い方の訓練。
- ⑦ 個人の備蓄と、自治会や町が備える品目や数量の明確化。
- ⑧ 基本的に各家庭での最低で 3 日分できれば 1 週間分の確保。

■ 報告者の感想

栄町が大地震の発生により大災害に見舞われることはもはや避けがたいことであり、私たちは今すぐにでも対策を立てなければならない状況にあることを強く感じました。

大地震がいつ起きてもおかしくない状況を思えば、短期で大きな効果が得られることから着手すべきであり、町も自治会と連携しながら早急に対策を具現化して行くことが何よりも重要であることを痛切に感じました。

（文責：防災部長 南原）

専門部活動報告

秋のわくわく花植え開催

生活環境部

11月20日(火)、秋晴れのなか、恒例の秋の花植え(通称:わくわく花植え)が行われました。花植えを行った場所はバイパス道路わきの花壇や2丁目バス停付近の植栽マス花壇などです。

今回植えた花はキンセンカ1,600本、パンジー1,600本ですが、事前に菜の花の種もまいてありますので、今年も花いっぱいの景観が出現するはず。どうぞ楽しみにしてください。

花植えの参加者は、竜角寺台小学校の5、6年生25名、西陵高校の生徒38名に両校の先生方7名、それと、地域の方々、あおぞら会や、見守り隊の皆さん、自治会関係者を含め約100名でした。この花植え活動は、児童・生徒・地域の大人たちとの世代間交流の場であり、子供たちが花植えを通じて世代間の交流を行いながら、花がいっぱいの街づくりに貢献することで、豊かな気持ちを育てていく活動にもなっています。また、いつも花がいっぱい、花壇がよく手入れされていることによる、防犯面での効果もあります。

特に、あおぞら会の皆さんには、いつも事前の準備や事後の片づけ、及び日常の維持管理など、多大なご尽力をいただいております。

なお、この花植えは「セブン・イレブン記念財団」様の助成金を活用して実施しています。



建設プロジェクト進捗状況

外装工事は計画通り10月中に完了しました。内装工事も計画通り進捗しており、12月中にはコミュニティーホールそのものは完成する予定です。

1月11日から現コミュニティーホール及び外部倉庫の解体が始まります。

お知らせ

1. コミュニティーホールの解体が始まる1月11日(金)から引渡が行われる2月23日(土)までの間、原則コミュニティーホールは使用できません。緊急の連絡先は以下の通りです。

岡部会長(090-1421-6974)

岡本総務部長(090-2162-1515)、野田会計部長(090-6130-6482)

2. 朝市の開催時間変更

12月より、朝市の開催時間が以下のとおり冬時間になります。

開催時間:8時00分~8時45分

年末もちつき大会のお知らせ

日時：平成30年12月22日（土）

販売は10：30から開始し、
売切れ次第終了とさせていただきます。

場所：コミュニティーホール駐車場

メニュー

あんもち、きな粉もち、からみもち、お雑煮（各100円）



※1 今年度は、自治会員各世帯におもち券を配布し、もちつき大会当日、別途準備した丸もち2個と交換させていただきます（9：30～14：00）。

※2 例年同時開催していた「趣味の作品展」は中止します。

12月のサロンのご案内

ゆったりサロン

お茶を飲みながら、楽しくおしゃべりしましょう。

日時 12月14日（金）
10：00～14：00

参加費用 弁当代（実費500円程度）

申込方法 当日、直接コミュニティーにお越しください。

ほのぼのの集い

※12月の「ほのぼのの集い」はお休みです。

クリスマス会のご案内 文化事業部

楽しいクリスマス会を開催いたします。
小学生の皆さんの参加をお待ちしております。

日時 12月15日（土） 13時30分～



□■□ 龍翔 川柳・俳句 □■□

・紅葉での ・ミノムシは ・陽に負けず	レッドカーペット ヒートテックを 目立つ存在	歩きつつ つけており 彼岸花
・俳人や ・秋深し ・鴨渡る	秋の利根にも 山や遙かに 古利根川や	遊びしか 筑波山 波静か
四丁目 秋山 孝夫	六丁目 近藤 松弘	

広告コーナー

手打ちそば道場 一夢庵（いちむあん）

“自分で打ったそばの味は
格別ですよ！”



対象者：小学4年生～大人まで
練習日：火曜日又は土曜日 10時～12時（調整可）
場所：竜角寺台4-36-10（自宅道場）
費用：1回1000円（お持ち帰り6人前）
当日ソバを食される方は別途300円
連絡先：岡本雅道 090-2162-1515